

## 8. 株式会社リモートアシスト 視覚障害者Android端末「エルビーフォン」

---



## あなたの生活を 豊かにする スマートフォン

**LB**エルビーフォン  
For Low vision & Blind



こんなカスタマイズが可能です

- 画面読み上げ機能(TalkBack)
- 見え方に合わせた画面拡大や色反転
- 文字が大きく入力しやすい検索画面
- あなたにお勧めのアプリをインストール

エルビーフォンは、目が見えにくい方が使いやすいようにさまざまな工夫がなされています。お手持ちのスマートフォンからSIMカードを差し替えるだけなので、電話番号や料金が変わりません。専門の相談員が、お客様の視力やニーズを伺い、それに応じたカスタマイズを行います。そのため、一般の携帯ショップや量販店では購入できない商品です。

エルビーフォンの開発は、先天性の視覚障害があり当事者目線でスマートフォンの指導を10年以上に渡って行ってきた専門スタッフである、岸本将志(きしもとまさし)が完全監修し、設定内容を決めるヒアリングから使用方法のサポートを提供します。

新しいアプリのインストールや設定の変更については、遠隔操作(有償サポート)で対応しています。

使い方については、このページの右にあるQRコードから動画を視聴できます。



## 株式会社リモートアシスト 視覚障害者Android端末「エルビーフォン」

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業名        | 株式会社リモートアシスト                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 機器・サービス名   | 視覚障害者Android端末「エルビーフォン」                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 問合せ先       | 株式会社リモートアシスト <a href="mailto:info/atmark/remote-assist.jp">info/atmark/remote-assist.jp</a><br>(注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。                                                                                                                                                                                   |
| 機器・サービスの概要 | <p>エルビーフォンは、当事者の視力や見え方、使い方に合わせて画面やアプリをカスタマイズしたスマートフォンです。いわばオーダーメイドのスマホです。このカスタマイズは先天性の視覚障害を持ちながら10年超に渡りパソコンやスマホ講習の講師を務めてきた岸本将志さんの企画監修によるものです。</p> <p>エルビーフォンを設定するにあたってはお一人ずつヒアリングを行い、その方の視力やご利用目的、スマートフォン利用歴などから、最適と思われる設定や調整、ご要望のアプリなどインストールします。またご利用開始後においても使いこなしのサポートや、遠隔操作による設定変更、新たなアプリのインストール(有償)などを行います。</p>    |
| 機器・サービスの特徴 | <p><b>1. 機器・サービスの機能</b><br/>エルビーフォンは、全盲や弱視の利用者向けに音声読み上げ機能や画面拡大機能を調整。音声読み上げと画面拡大を組み合わせるため、視覚に応じた柔軟な利用が可能です。また、操作方法やフォントサイズ、配色の調整ができ、基本アプリの使いやすさも向上します。</p> <p><b>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</b><br/>文字情報の音声読み上げ、画面拡大、色調整、アニメーション抑止機能を搭載。また視力低下時には遠隔援護サービスも利用可能です。</p> <p><b>3. フロッグワークス社(セッティングの監修)によるカスタマイズ設定と電話サポート体制</b></p> |

# 株式会社リモートアシスト 視覚障害者Android端末「エルビーフォン」

## 当事者ニーズを踏まえた開発

- 企画・設計開発の段階で、視覚障害当事者かつ視覚障害者のICT利活用に関する専門家(視覚障害者向けのICT講習・視覚障害者団体向けウェブサイトの制作に長年従事している)の助言を得て、音声読み上げ機能の設定・画面表示の拡大機能の設定等、出荷時に行うべきアクセシビリティ設定の仕様(エルビーフォン標準仕様)の策定を行った。
- 上記により策定された仕様をもとにエルビーフォンのデモ機を準備し、直近1年間で視覚障害者向けの体験会を3回(参加者実数14名)、オンライン説明会を2回(参加者実数20名)、個別にモニターという形5名の方に実機を体験していただいた。  
上記対象者の内訳は、全盲の方が約6割、弱視・ロービジョンの方が約4割であった。弱視・ロービジョンの方の見え方(障害の程度)は様々であった。  
それぞれの場で、a)操作方法の分かりやすさ、b)使い勝手の良さ、c)今後さらに必要と思われる機能の3点について意見収集し、エルビーフォン仕様に反映させた。なお、上記の対象者以外の使用者から得られた感想やトラブル事例から読み取れる改善点についても分析し、随時仕様に反映させている。

## 企業としての組織的な取組

- 前職での経験: 経営者は前職のメーカーで、AVC商品のマーケティングやユニバーサルデザイン(UD)ものづくりを担当し、視覚障害者向けの製品改善に取り組んできました。
- 会社設立と遠隔援護サービス: その経験を活かし、ウェアラブルカメラを利用した視覚障害者の遠隔援護サービスを事業化。経営者自身も「同行援護従事者」の資格を取得し、一般社団法人日本視覚障害者遠隔援護協会を設立しました。
- サービスの拡大: 全盲者対象のサービスから、弱視者や難聴との複合障害者へのサービス拡大を目指し、「点字チャット」や生成AIを活用したテレビ放送の要約・点字変換を開発。盲ろう者がリアルタイムでテレビの世界に触れられるようにすることを目指しています。

## 1 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

### a. 製品が提供する価値

- ・ 視覚障害者がスマホ利用にあたって生じる物理的、心理的ニーズに着目し、スマホ端末やアプリへのアクセシビリティをリモートでサポートすることで、視覚障害者だけでなく高齢者や初心者向けに機器利用のハードルを下げている。

### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ Androidのアクセシビリティ機能をカスタマイズすることで、開発費を抑え低コスト化している。
- ・ 個別の聞き取りに基づき、利用者個々にアクセシビリティ機能をカスタマイズすることで、個人に合わせた最大の使いやすさを提供している。

## 2 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- ・ 障害当事者が研修の講師としての経験を踏まえて、開発に活かしている。
- ・ 20名の障害当事者のユーザテストにより、さらなる機器の使い勝手を向上させている。
- ・ フロックワークス社がセッティングを監修しており、サポートも行っている。
- ・ デモ機による体験会、オンライン説明会を1年間に数回実施し、操作方法、使い勝手などを確認し反映している。

## 3 企業としての取組について、優れている点

- ・ 多くの視覚障害者団体と連携したり、展示会に出展するなど、外部へのアピールに務めている。
- ・ 多くの企業が目を向けない盲ろう者のアクセシビリティの確保についても将来的な構想を抱いている。

4

## 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

### a. 製品が提供する価値

- ・ サポートによる視覚障害者のスマートフォン利用意欲がどの程度向上しているのかが明らかになることを期待する。

### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ 一度習得したジェスチャーが独自形態であると、他の製品を使用するには乗り換えにあたっての練習が必要であるため、長期的視点では利用者が不便にならないかという点は気がかりである。
- ・ 音情報を可視化する機能があれば、聴覚障害者にも便利になる可能性があり、今後対応を期待する。

### c. その他(普及のための周知広報、体制構築など)

- ・ 購入前ヒアリングは丁寧な対応であるが、時間やコストがかかる。研修、事例共有を推進して専門スタッフのスキルを向上させることで、より使い勝手のよい方法を期待する。
- ・ 盲ろう者にも対応できるサポート体制が構築されることを期待する。
- ・ ICTサポートセンターや点字図書館と連携することで、製品の認知度向上やサポート人材の育成を期待する。